



太陽と大のなかよし戸沢の子

「骨のある人」になりましょう

校長 村田 紳

新年がスタートして一ヶ月が経ちました。今年も全職員一丸となってがんばってまいります。保護者並びに地域の皆様には、昨年同様ご支援・ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、12月の大雪から一転、1月は天候が落ち着き、登下校しやすい道路状況になっています。本校の子どもたちは、地域の多くの方々から見守られ、気をつけながら歩いて登校をしています。また、スキー記録会に向けてスキー練習に力を入れているところです。

後期の目標は、「粘り強く」「一生懸命」「挑戦する」の三点でした。今年度わずかな日数の中で、自分で決めたことを徹底して行っていく大切さを「骨のある人になろう」という言葉で子ども達に話しました。

私たち人間には、骨がない人などいません。それでも日本語には、「骨のある人」「骨のない人」という言い方があります。

人間の体には、206個の骨があります。骨は体を支え、内臓を守るだけでなく、血液を作る大切なものです。人間にとっては「骨」は無くてもならないものなのです。

このように大切な「骨」を使った言葉はほかにもあります。強く心に感じることは「骨にしみる」物事の中心になったり、支えたりする意味で「骨組み」という言葉があります。

では、「骨のある人」とは、どんな人でしょう。それは、様々な困難に耐えて、粘り強く取り組む人のことを「骨のある人」と言います。自分の体や心を精一杯使って、物事をやり遂げるとか、怠けないで一生懸命取り組まなければ、「骨のある人」とは言えないのです。

「骨のある人」とは、自分のためだけでなく、人のために「骨を折ること」「苦労や努力ができる人」でもあります。

そして骨を強くするためには、体の外から骨に刺激を加えることが大切なのだそうです。その意味でも、困難を乗り越える苦労が「たくましい骨のある人」を生み出すのです。

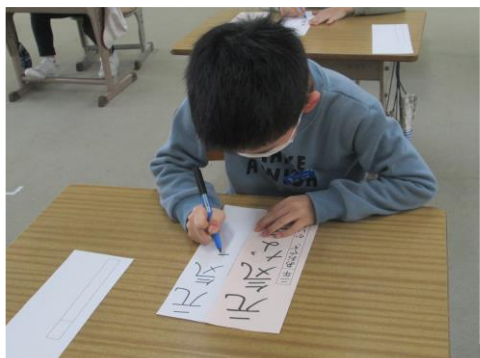
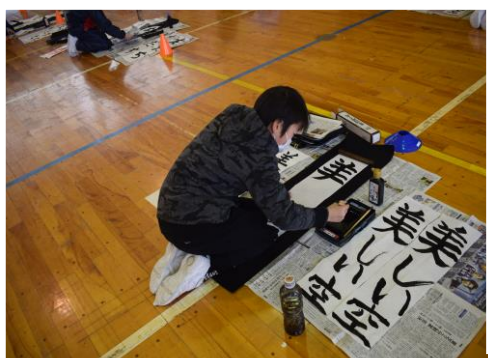
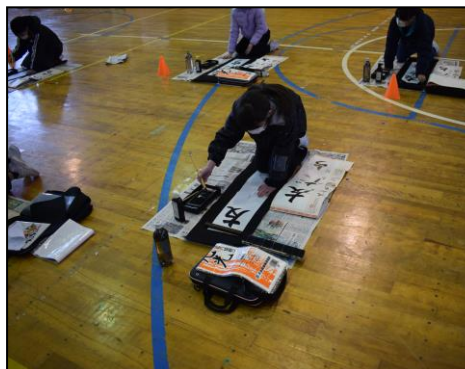
私たち教職員も「チーム戸沢」として、「骨を惜しまず」子ども達の教育に全力で力を注いでいきます。



1月の活動から



◇書き初め会 1月11日の様子から◇



スキー、みんな頑張っています。



◇読書POPを作ろう【6年生】 1月23日◇

